

## 平成16年度事業報告書

### 1 学術研究業績の表彰

本財団の寄付行為に定められている目的を実現する方策として設立した日本農学進歩賞は、日本の農学に従事している萌芽的な研究成果をあげた若手研究者を毎年10名程度顕彰する制度である。今年度は30件の応募があり10名を表彰した。

第3回農学進歩賞授賞式及び記念講演会を平成16年11月24日（水）に実施した。

また、平成14年度に新設したアジア獣医学奨励賞（ヒルズ・アワード）をアジアの獣医学大学学部在籍する若手、中堅大学の中から4名に顕彰するための選考を行った。

### 2. 農事に関する重要な事項の調査

#### (1) 日本技術者教育認定機構（JABEE）技術者教育プログラム（農学一般関連分野）審査事業

日本技術者教育認定機構（JABEE）の幹事学協会として3校の技術者教育プログラム（農学一般関連分野）の審査を実施した。

#### (2) 日本技術者教育認定機構（JABEE）普及指導活動

JABEEでは平成13年度からJABEE公認の分野別審査員研修会を開催することを認めているため、(財)農学会が中心となり農業工学関連分野、森林関連分野、生物工学関連分野の幹事学会である各学会と共催して審査員研修会を開催した。

日 時 平成16年7月31日（土）～8月1日（日）

会 場 東京大学農学部 弥生講堂

講 師 9名

参加者 112名

### 3. 学術講演会の開催

#### (1) 公開セミナーの開催

社会情勢の変動に伴い社会への還元の一環として公開セミナーを財団法人農学会主催で夏と冬に2回開催した。

## 夏の開催

### ① 第3回財団法人農学会公開セミナー

日 時 平成16年 9月11日(土)

午後2時～4時30分

会 場 東京大学農学部 弥生講堂

テーマ 「立ち上がる農山漁村」

(パネラー) アン・マクドナルド (エッセイスト)

今村 司 (日本テレビ営業局副部長)

小泉 武夫 (東京農業大学教授)

こもだ たかこ (株)エス・エス・ジー社長)

白石 真澄 (東洋大学助教授)

三國 清三 (オテル・ドゥ・ミクニオーナーシェフ)

(座 長) 林 良博 (東京大学副学長)

主催 財団法人農学会、農林水産省

共催 東京大学大学院農学生命科学研究科

参加者 200名

## 冬の開催

### ② 第4回財団法人農学会公開セミナー

日 時 平成17年 2月 5日(土)

午後1時30分～4時30分

会 場 東京大学農学部 弥生講堂

テーマ 「植物のちから、微生物のちから」

座 長 小池 勲夫 (東京大学海洋研究所)

宮崎 毅 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

「土壌環境の修復：ファイトリメディエーション

とバイオリメディエーション」

祥雲弘文 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

「水環境の浄化：地上の窒素サイクルと好気脱窒」

宝月岱造 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

「自然に学ぶ森林再生：植物と菌類の共生が果たす役割」

主 催 財団法人農学会、東京大学21世紀COEプログラム「生物多様性・生態系再生拠点」

参加者 180名  
特別セミナー

③「プランBをめぐる科学的討論」

日時 平成16年 6月 4日(金)  
午後3時～5時30分

会場 東京大学農学部 教官会議室

ゲストスピーカー レスター・ブラウン (アースポリシー研究所所長)

パネラー レスター・ブラウン

柳澤 幸雄 (新領域創成科学研究科 教授)

武内 和彦 (アジア生物資源環境研究センター長)

横山 伸也 (農学生命科学研究科 教授)

スティーブン・クレインズ (工学系研究科 助教授)

コーディネーター 林 良博 (副学長)

主催 財団法人農学会

共催 東京大学大学院農学生命科学研究科、東京大学大学院新領域創成科学研究科、東京大学アジア生物資源環境研究センター、環境文化創造研究所、

協賛 ワールドウォッチジャパン

参加者 229名

④新潟県中越地震緊急シンポジウム

「闘牛と錦鯉の教訓に学ぶ」

日時 平成17年 1月16日(日)  
午後1時～4時

会場 東京大学農学部 弥生講堂

パネリスト

菅 豊 (東京大学東洋文化研究所・助教授)

吉田俊一 (全日本錦鯉振興会・副理事長)

間野泉一 (全日本錦鯉振興会・副理事長、小千谷市闘牛振興会・実行委員長)

関 克史 (山古志村畜産家、闘牛飼育者)

主催 財団法人農学会、生き物文化誌学会、ヒトと動物の関係学会

後援 東京大学大学院農学生命科学研究科

参加者 200名

⑤「だれが世界を養うのか」

日 時 平成17年3月24日(木)

午後5時～7時30分

会 場 星陵会館

ゲストスピーカー レスター・ブラウン

(アースポリシー研究所所長)

パネラー 石 弘之(北海道大学教授、前ザンビア特命  
全権大使)

福岡伸一(青山学院大学教授)

Ruan Wey(農林中金総合研究所副主任研究員)

コーディネーター 林 良博(東京大学副学長)

主 催 財団法人農学会

共 催 環境文化創造研究所

協 賛 ワールドウォッチジャパン、株式会社EM研究機構、  
全国農業協同組合中央会、

参加者 150名

⑥「環境の世紀を拓く新領域」

日 時 平成17年3月25日(金)

午後3時～5時30分

会 場 東京大学大学院農学生命科学研究科 教官会議室

ゲストスピーカー レスター・ブラウン(アースポリシー研究所所長)

パネラー レスター・ブラウン

磯部 雅彦(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)

渡邊 正(東京大学生産技術研究所教授)

宮崎 毅(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

コーディネーター

林 良博(東京大学副学長)

主 催 財団法人農学会

共 催 東京大学大学院農学生命科学研究科、東京大学生産技術研究所、  
東京大学大学院新領域創成科学研究科、21世紀COEプログラム  
「生物多様性・生態系再生研究拠点」、環境文化創造研究所、

協 賛 ワールドウォッチジャパン

(株)ジョットインターナショナル

参加者 110名

## (2) 公開セミナーの共催

東京大学大学院農学生命科学研究科教官の研究成果を社会への還元の一環として年2回春と秋に同研究科と共催で実施した。

### 春の開催

#### ① 第26回 東京大学農学部公開セミナー

「機能性食品と健康」

日 時 平成16年6月12日(土)

午後1時30分～

会 場 東京大学農学部 弥生講堂

司 会：寄付講座 機能性食品ゲノミクス

客員助教授 松本 一郎

「健康を守る新食品『トクホ』を知ろう」

応用生命化学専攻 教授 清水 誠

「腸内細菌叢から見た機能性食品」

獣医学専攻 助教授 伊藤喜久治

「機能性食品とニュートリゲノミクス」

応用生命化学専攻 教授 阿部啓子

主 催 東京大学大学院農学生命科学研究科

共 催 財団法人農学会

参加者 211名

### 秋の開催

#### ② 第27回 東京大学農学部公開セミナー

「海の生き物を探る」

日 時 平成16年11月27日(土)

午後1時30分～

会 場 東京大学農学部 弥生講堂

司 会：水圏生物学専攻 教授 松永茂樹

「マイワシはどこに消えたのか

—海の魚類生産の移り変わり」

水圏生物学専攻 教授 青木一郎

「造礁サンゴの大量死滅が魚類群集に与える影響

：危機にあるサンゴ礁生態系」

農学国際専攻 助教授 佐野光彦

「魚類増養殖の発展を脅かす流行病」

水圏生物科学専攻 教授 小川和夫

「動物はなぜ『旅』をするのか？」

海洋研究所 教授 塚本勝巳

主 催 東京大学大学院農学生命科学研究科

共 催 財団法人農学会

参加者 168名

#### 4. 印刷物の刊行

(1) 第3回日本農学進歩賞受賞者講演要旨集刊行

年1回、300部(48頁)

(2) 農学・農業関連分野の情報発信と情報交換を促進するため農学関連の教育研究機関(農学部関係、日本農学会所属学会など)各種農業団体等のホームページの作成、改良、運営を支援した。

#### 5. その他目的を達成するために必要な事業

弥生講堂一条ホール内において学会等を開催する諸団体の要望及び農学会の自主的財源による事業拡大の方策として備品類(液晶プロジェクター、スライドプロジェクター、展示パネル等)の貸出業務を行った。

#### 6. 会議開催について(理事会、評議員会)

平成16年度中に理事会、評議員会を2回開催し、主として次の事項について審議した。

(1) 平成16年度事業並びに決算について

(2) 平成17年度事業計画並びに予算について

(3) JABEE幹事学協会としての事業について

(4) 農学会の活性化について